

りんごちゃんの十和田の魅力体験記

01

南部裂織



裂織とは、傷んだり不要となった布を裂いて横糸「緯」にし、地機で織る機織りの技法または織り上げた織物のこと。

寒冷な気候のため綿を栽培できなかった南部地方では、貴重な綿の端切れも粗末にすることなく大切に使う「使い切る布文化」が発達しました。

5/19 (木)

南部裂織の製作を体験

匠工房で南部裂織の体験をしました。最初は、手も足も使う地機に苦戦したけれど、織り方の流れが分かっただけで、一人でもスムーズにできるようになりました。

製作中は無心になれるので、特に普段考え事が多い人には、リフレッシュとしてもおすすめです!

今回は卓布の製作体験でしたが、もっと時間を掛けてポーチやバッグを作る体験コースもあるそうです。



お土産コーナーで「りんご」のキーホルダーを発見!!



裂いた布を横糸に使用します



1本1本丁寧に織り込みます



1時間くらいですてきな卓布が完成!

時間も忘れて黙々と製作中

きれいに作れました!

02

流鏝馬



本市では、疾走する馬に乗りながら鏝矢的を射る流鏝馬の各大会が開催されています。

4月下旬に中央公園で開催されている「桜流鏝馬」は、全国で唯一の女性だけが参加できる大会で、女流騎士が華麗な技を披露します。

また、10月には世界流鏝馬選手権が開催され、各地から集まった騎手たちが日ごろ磨いた技を競い合います。

5/22 (日)

流鏝馬の観戦&乗馬を体験



十和田乗馬倶楽部で開催された流鏝馬大会の応援に行きました。白熱した試合展開に会場は大盛り上がり! 流鏝馬競技終了後に行われた「流鏝馬ジョッキ」に参加して、初めての乗馬に挑戦しました!



皆さんもぜひ乗馬を楽しんでみてください!

「流鏝馬ジョッキ」にチャレンジ!

「流鏝馬ジョッキ」ではジョッキーがジョッキを持って走行し、どれだけ水をこぼさずにゴールできるかを競います。



流鏝馬ジョッキスターティン!

途中でバランスが崩れて...

応援ありがとー

初めての乗馬のため、手綱を引いてもらいます!

ジョッキは空っぽだけど、笑顔でゴール!!

03

きみがらスリッパ



本市は古くからの馬産地であり、馬の飼料用作物であるデントコーンの皮の再利用のため、きみがらスリッパを製作してきました。

きみがらスリッパは、約120グラムと軽く、夏は涼しく、冬は暖かい快適な履き心地が特長です。

5/23 (月)

デントコーンの種まきを体験

三本木農業専修高校の1・2年生と一緒にデントコーンの種まきをしました。ふかふかの土を踏む作業が楽しかったですし、コーンがどうやって作られているのかも知ることができてうれしかったです。収穫も体験できたら良いなと思っています。



作業は、
①鎌で小さい穴を掘る
②穴に種を落とす
③上から踏み
を繰り返します。



CHECK!

種をまいた後にカラスなどに食べられないよう、種に赤く色を付けてまきます。



大自然の中での1枚

5/24 (火)・6/13 (月)

きみがらスリッパの製作を体験

匠工房で、きみがらスリッパの製作を体験しました。「BEAMS JAPAN」でも販売されているきみがらスリッパは東京でも話題で、実は私も既に愛用しているけど、今回はオリジナルのスリッパを作ります!



カラフルに染められたデントコーンの皮を好きなように組み合わせることで、世界に一つだけのオリジナルスリッパが作れます!



かわいく作れて大満足です!



複雑な工程を

丁寧に教えてもらいながら作業を進めます



二日間かけてついに完成!

オリジナルのきみがらスリッパ生活 / スターティン!



YouTubeで十和田市の魅力を楽しく紹介!



りんごちゃんが十和田市のさまざまな魅力を体験し、動画で発信しています。これまで知らなかった魅力に出会えるかもしれません。皆さんもぜひご覧ください。



詳しくはこちらから